

(学-1) 自学自習の記入の必要がある科目：本科学修及び専攻科の講義演習（授業内容部分に罫線あり 16 週分）

科目名	機械工学演習Ⅱ	英語科目名	Exercise of Mechanical EngineeringⅡ		
開講年度・学期	平成 25 年度・前期	対象学科・専攻・学年	機械工学科 5 年		
授業形態	演習	必修 or 選択	選択		
単位数	1 単位	単位種類	学修単位 (30+15) h		
担当教員	川村 壮司	居室 (もしくは所属)	機械工学科棟 2 階		
電話	0285-20-2201	E-mail	t-kawamura@oyama-ct.ac.jp		
授業の達成目標		授業達成目標との対応			
		小山高専の教育方針	学習・教育目標 (JABEE)	JABEE 基準要件	
		1. 静力学の基礎が理解できていること.	②	(A-2)	d(2-a)
		2. 引張り圧縮の問題が解けること.	②	(A-2)	d(2-a)
		3. 応力、ひずみおよびフックの法則が使用できること.	②	(A-2)	d(2-a)
		4. せん断とねじりの計算ができること.	②	(A-2)	d(2-a)
5. はりの曲げ問題が解けること.	②	(A-2)	d(2-a)		
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法					
達成目標 1～5：試験での関連問題について 60%以上の成績で達成とする。					
評価方法					
2 回の試験（各 90 分）の相加平均と授業毎のレポートおよび小テストで評価する。 試験は、ポケコンのみ持ち込み可。なお、参考書、コピー、携帯電話、ノート、メモ等の持ち込みは不可。					
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間		
1. 静力学についての問題	材料力学の復習をしておく		1		
2. 応力、ひずみ、フックの法則についての問題	レポートによる問題を解いてくる		1		
3. 応力、ひずみ、フックの法則についての問題	レポートによる問題を解いてくる		1		
4. 引張り圧縮についての問題	レポートによる問題を解いてくる		1		
5. 引張り圧縮についての問題	レポートによる問題を解いてくる		1		
6. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1		
7. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1		
8. せん断とねじり	レポートによる問題を解いてくる		1		
9. せん断とねじり	レポートによる問題を解いてくる		1		
10. はりの曲げ	レポートによる問題を解いてくる		1		
11. はりの曲げ	レポートによる問題を解いてくる		1		
12. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1		
13. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1		
14. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1		
15. 総合問題	レポートによる問題を解いてくる		1		
			自学自習時間合計		
			15		
キーワード	静力学, 応力, ひずみ				
教科書	指定しない				
参考書	前年度までの材料力学で使用したもの				
カリキュラム中の位置づけ					
前年度までの関連科目					
現学年の関連科目		材料力学			
次年度以降の関連科目					
連絡事項					
シラバス作成年月日	平成 25 年 2 月 28 日				